

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会幹事 古川和洋

テクニカルスクールの開催

■テクニカルスクール

～ドラッカー哲学入門とチームのための
マネジメント～

青年技術士交流委員会では、平成23年10月27日にテクニカルスクールを開催しました。講師には、ドラッカー学会会員でおられる、株式会社ジ・エッジ取締役の脇秀徳氏をお迎えしました。講演のテーマは、「ドラッカー哲学入門とチームのためのマネジメント」です。

開催に先立ち、当委員会田中委員長より挨拶の後、研修会が始まりました。

前半は、ドラッカー哲学について学びました。「ドラッカーってよく分からないよね、でもそれって普通のことなんですよ！」という言葉から始まり、ドラッカーの経歴や人物像などの説明がありました。ドラッカーの全ての著書には、「人が幸福であるためには何が必要か」という問題意識があること、「仕事で成果を上げる→知識労働者が成長する→それは組織への貢献である→組織は社会へ貢献する→そして文明が発達する」これがドラッカーの教えであること、などの説明がありました。

後半は、『実践するドラッカー [チーム編] 上田 惇生 (監修) 佐藤等 (編著)』を教科書に、チームマ

ネジメントについて学びました。

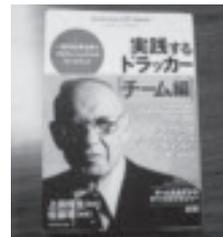
まず、マネージャーには二つの役割があるという説明がありました。一つ目は、「部分の和よりも大きな全体、すなわち投入した資源の総和よりも大きなことを生み出す生産体を創造することである」二つ目は、「そのあらゆる決定と行動において、ただちに必要とされているものと将来に必要とされているものとを調和させていくことである」

次に、あらゆるマネージャーに共通する仕事は五つであるという説明がありました。「目標を設定する」「組織する」「動機付けとコミュニケーションを図る」「評価測定する」「人材を育成する」

他にも、メンバー育成、目標を掲げる、自らを評価する、仕事環境を整える、チームを活性化させる、について説明がありました。



熱弁の脇講師(左)



『チーム編』(右)

最後には、受講者の皆さんと脇講師との間で活発な質疑応答がなされました。特に、「仕事と働く人を分ける」ということについて、多くの意見が交わされました。ドラッカーとチームマネジメントについて、より理解を深めることができ、非常に有意義な時間であったと思います。

青年技術士交流委員会では、今後も様々なテーマについて、講演会やテクニカルスクールを開催する予定です。皆様もぜひ参加してください。



研修会の実施風景